

AI音声認識

## 議事録作成支援ソフトウェア



Scribe Assist

by AmiVoice®

オンラインでも



オフラインでも

# 迅速に安全に議事録作成業務の労力を削減！

音声録音からテキスト化、編集、要約までをワンストップで！Scribe Assist(スクライバアシスト)はAI音声認識シェアNo.1のAmiVoice®をエンジンに持つ、議事録作成を自動化するソフトウェアです。「機能」と「セキュリティ」に優れたこのソフトを、VTVジャパンでは会議室の音問題を解決するソリューションとともにご提案。文字起こし精度をさらに高める環境とともにご提供します。

## 議事録作成をアシストする豊富な機能

### リアルタイム認識

音声を即座にテキスト化  
あらゆるWeb会議システムでも利用可

### 単語登録機能

認識が難しい業界用語や専門用語、社内特有の言い回しにも対応  
オプションで業界向け辞書もあり

### 文字起こしと連動した音声再生機能

発言した文字と音声をリンクして保存  
聞き直しながらの修正が容易

### タグ付け、キーワードの設定・検索

「重要」「決定事項」「Todo」などのタグ付けや  
キーワードをハイライトする、検索なども可能

### 豊富な出力形式

テキスト、Word、Excel、CSVなどのファイル形式に対応  
検索ワード、タグ、発言者ごとの抽出や出力も可

### ファイル認識

録画・録音データから音声をテキスト化  
ソフトを起動できなくても後から利用可能

### 発言者識別機能

声の特長を学習して発言者の名前と発言をAIが紐づけ  
学習前には番号で割り振りして識別

### ポップアップ字幕、Zoom連携

リアルタイム認識時に字幕でサポート  
株主総会や窓口業務などの用途や聴覚障害者支援にも

### 言い淀み(フィラーを自動削除)

「えっと」「そのー」「あの一」などの言い淀みを自動削除  
修正する手間を軽減

### ファシリテーションモード

会議準備から会議進行、リアルタイムでの要約作成まで  
ワンストップで実施。会議の質向上と情報共有をアシスト

## 選べるAI要約機能

文字起こし結果からの要約、議事録作成をAIが実施。ローカル環境で処理できる方法もあり、情報漏えいリスクも避けられます。要約方法は以下の3つから選択が可能です。(追加料金なし)

### スタンドアローン要約

すべての処理をPC内部で完結。  
外部に情報が出ることがなく安心して  
ご利用いただけます。

### Scribe Assistで要約

生成AIの文字起こし結果をクラウド上  
に送信して要約を実施。  
音声データや要約結果はクラウド上には  
保存されません。

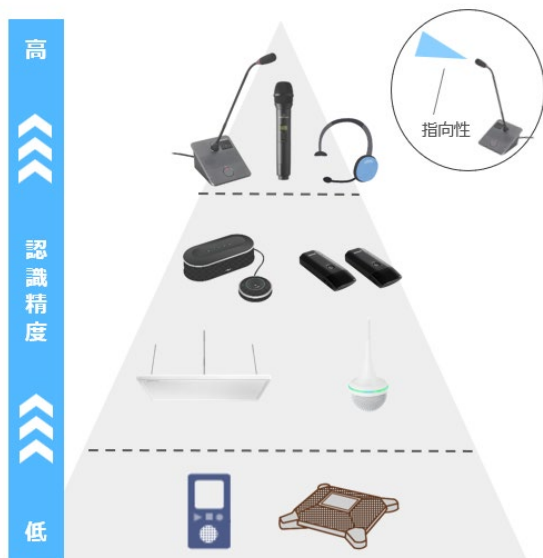
### 議事録エディタ

文字起こしや議事録(要約結果)の  
編集が可能なアプリをご用意。  
AI要約から議事録編集、ファイル出力、  
URL共有までを一括で行えます。

# VTVジャパンなら会議室環境の最適化からご提案

VTVジャパンではオンライン会議室の構築やリプレイスのご提案を行っています。

議事録作成の起点となる文字起こしの精度は、話者の声をきれいに集音できるかどうかで左右されます。音声自体をきれいに集音することで議事録作成の精度を上げる他、会議自体もスムーズにやり取りができるよう、貴社の会議室環境に適した機器を選定いたします。



一般的には指向性の高いマイクが適していると言われますが、会議室全体の課題のヒアリング、現地調査の上、ご提案させていただきます。

## 導入事例:金融保証会社様

Zoomを利用して役員会議を行っている金融保証会社様より、役員会議室の改修についてご相談をいただきました。「声の小さい方の発言も、会議参加者全員にしっかり届くようにしたい」というご要望でしたが、実際には会議後に録音データを使って議事録を作成する担当スタッフも聞き取りづらく、作業が滞る原因になっていました。

そこで、参加者全員の声を確実に拾えるグースネックマイクを中心にAV機器を導入・構築したところ、音声の問題は無事に解決しました。

さらに、「この機会に議事録作成の効率化も図りたい」とのことで、弊社のScribeAssistをお試しいただくことになりました。同社は業種柄、会議内容の漏えいに非常に慎重で、クラウド型の議事録作成ツールは利用できないと諦めていたそうです。しかし、ScribeAssistにはPC内で処理を完結できるスタンドアロン型の要約機能があり、「これなら安心して使える」とトライアルを実施していただきました。

ScribeAssistには業界ごとの専門用語集が用意されており、文字起こし精度も高いのが特長です。また、独自に語句を登録することもできます。AIが声の特徴を学習し、発言者の名前と発言内容を自動的に紐づけるほか、未学習の話者には番号を付与して識別するため、後から誰の発言かを確認するのも簡単です。

特にご担当者様が感動されたのは、「誤変換と思われる部分を実際の音声を聞きながらその場で修正できる」点でした。

トライアルを経て正式導入が決定し、現在導入から3か月が経過。議事録作成にかかる時間は大幅に短縮され、引き続きご利用いただいています。



デモンストレーションやトライアルのお申し込みはお気軽に！

お問い合わせフォーム: [https://www.vtv.co.jp/contact\\_us/](https://www.vtv.co.jp/contact_us/)

